令和7年度　第1回　物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

No.	推奨事業メニュー	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期
1	③消費下支え等を通じた生活者支援	割増商品券事業	①原油価格・物価高騰により影響を受けている市民の生活支援及び地域経済の活性化を図るため，割増商品券（3割増）の発行を行うもの。 ② 割増商品券販売業務委託に係る経費 ③ 146,000千円 割増商品券販売業務委託料　146,000千円 （商品券割増分）@3,000円×50,000人×0.8＝120,000千円 （商品券販売・精算手数料等事務費）26,000千円 その他：一般財源 ④ 市民	R7.4	R7.12
2	②エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯支援	小中学校食育推進事業	①目的・効果 エネルギー・食料品価格等の物価高騰により、生活に影響を受けている子育て世帯の負担を増やすことなく、給食を通して子ども達の地域への関心、生産者への感謝の気持ちを育む食育の推進、地元産食材を使用することによる生産者の支援が期待できる。 ②経費内訳 賄材料費 （1）富谷米の食べ比べ 目的・効果である「食育の推進」や「地元食材の使用による生産者支援」の観点を踏まえ、普段の「富谷産ひとめぼれ」に加え、富谷産の「ササニシキ」や「伊達正夢」などを提供し、富谷米ひいては地域への愛着の醸成にも寄与する。 （2）富谷産ブルーベリーデザートの提供 ③積算根拠 （歳出） 賄材料費 ・小学校 児童数：3,556人、単価加算：20円、提供数：175回　12,446千円 ・中学校 生徒数：1～2年生1,413人、単価加算：20円、提供数：170回　4,805千円 生徒数：3年生　709人、単価加算：20円、提供数：165回　2,340千円 ・支援校 児童数：70人、単価加算：20円、提供数：175回　245千円 その他：一般財源 （歳入） 重点支援地方交付金 18,252千円 ④事業の対象 小中学校の児童・生徒	R7.8	R8.3